

浜岡原子力発電所5号機 低圧タービンの輸送について

2010年3月15日

浜岡原子力発電所5号機においては、2006年6月15日に発生した低圧タービン第12段羽根の損傷事象^{※1}にともない、対策を施した低圧タービンの設計・製作が完了するまでの短期的な対策として3基ある低圧タービンの第12段羽根を全て取り外し、圧カプレートを設置して運転してきました。

昨年11月に低圧タービンの製作が完了し、このたび、輸送準備が整ったため、2月28日に製作工場から発電所への輸送を開始しました。海上輸送を経て、3月16日および17日に発電所構内へ陸上輸送により搬入する予定となりましたのでお知らせいたします。

発電所構内への搬入後、これまで使用してきた低圧タービンとの交換を実施し、第4回定期検査期間中に国の使用前検査を受けた上で、使用を開始する予定です。なお、これにより5号機の定格電気出力は現在の126.7万キロワットから2005年1月の営業運転開始時の138万キロワットに復帰する予定です。

低圧タービンの輸送の概要

1. 輸送予定日程
海上輸送: 2010年2月28日～3月16日（陸上への積み降ろしまで）
陸上輸送: 2010年3月16日および17日
2. 輸送区間
海上輸送: 日立港～御前崎港当社専用岸壁
陸上輸送: 御前崎港当社専用岸壁～浜岡原子力発電所
3. 輸送数量
低圧タービン3基（重量: 1基あたり約200トン）

※1 低圧タービン第12段羽根の損傷事象とは、定格熱出力一定運転中の5号機において、低圧タービン第12段羽根が脱落し、タービンが停止するとともに原子炉が自動停止した事象です。

【これまでの経緯】

浜岡原子力発電所5号機低圧タービン羽根損傷の原因と対策について

[\(2006年10月27日公表済み\)](#)

浜岡原子力発電所5号機低圧タービン新羽根設計に係わる工事計画の届出について

[\(2008年5月29日公表済み\)](#)

以上